

えひめ薬学生NEWS

薬害の根絶を願い…

薬害根絶デー開催



8月24日は「薬害根絶デー」

もう二度と、スモン・サリドマリド・薬害肝炎・薬害エイズなどの薬害を繰り返さないと厚生省(現・厚労省)が誓った1999年8月24日にちなみ、名付けられました。

その日以来、毎年8月24日には、全国から薬害被害者・家族・薬剤師などの医療従事者がつどい、薬害の根絶と被害者救済を願い、厚生労働省交渉・文部科学省交渉・リレートークなど、一連の薬害根絶行動を行っています。

愛媛からは、薬学生1名と薬剤師1名で参加してきました。8月23日の夜には薬害根絶デー前夜祭が開催され、全国から約200名が参加。24日午前からは、薬害根絶デー民医連のつどいが開催され、学習講演では、「子宮頸がんワクチン副作用被害の実態」と題して、別府 宏暉 医師(「正しい治療と薬の情報」誌編集代表/薬害オンブズパーソン会議 副代表)にお話していただきました。

1999年、厚生省が誓いの碑を建てて過去の薬害を反省した後も、薬害は起こりつづけており、被害者に対する適切な救済もされないままです。子宮頸がんワクチンについても、副作用により、記憶障害や歩行障害を発症するケースも報告されていましたが、国は子宮頸がんワクチンの予防接種を公費助成とし、多くの少女たちが接種をしました。

薬害は、人の命・副作用による被害よりも、儲けを優先した時に起こります。薬害は防ぐことができます。二度と薬害を起こさないよう、今後も訴えつづけることが大切だと感じます。

●参加した学生の感想

HPVワクチン薬害、サリドマド、エイズなど過去に起こった様々な薬害の話を聞きました。

改めて、薬害が起きてしまったことに対して憤りを感じ、国民の関心が薬害に向くことの大切さを痛感しました。私自身、将来薬剤師となることを目標にしているので、学校でも薬害についてしっかり学び、知識を身に付けていこうと思います。



今後の予定

- 9月3・4日(土・日) 薬学生夏のつどい 静岡県御殿場市
- 10月21日(金) 薬学奨学生会議 清水公民館
- 11月20日(日) 愛媛生協病院健康フェスタ



薬剤師のたまごの成長日記
ブログもチェックしてね♪

★長期休暇中の実習を受け入れています！
お気軽にお問い合わせください(^o^)/

